



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 マックスバリュ東海株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8198 URL <https://www.mv-tokai.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 社長執行役員 (氏名) 神尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 高橋 誠 TEL 053-421-7000
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	266,178	42.9	7,997	111.8	7,968	123.5	4,731	165.1
2020年2月期第3四半期	186,297	10.2	3,775	27.1	3,565	23.2	1,784	6.3

(注) 1. 包括利益 2021年2月期第3四半期 4,779百万円 (173.6%) 2020年2月期第3四半期 1,746百万円 (12.7%)

(注) 2. 当社は2019年9月1日付けにてマックスバリュ中部株式会社と経営統合しております。また、経営統合に先立つ同年7月1日付けにてディスカウント業態35店舗を分割し、同業態はイオンビッグ株式会社が分割承継しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	130.33	130.08
2020年2月期第3四半期	74.44	74.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	127,356	73,726	57.8	2,026.68
2020年2月期	119,857	70,664	58.8	1,941.73

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 73,575百万円 2020年2月期 70,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

期末配当予想の修正につきましては、本日（2021年1月13日）公表の「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	346,000	27.4	10,000	39.8	9,800	40.9	4,300	46.4	118.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	36,473,848株	2020年2月期	36,473,848株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	170,584株	2020年2月期	163,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	36,306,182株	2020年2月期3Q	23,975,698株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動の停滞や消費マインドの低迷が依然として続いており、政府の経済対策により経済活動の回復の兆しの一部で見られるものの、感染拡大の収束と景気の先行きは未だ不透明な状況となっております。当社が属する食品スーパーマーケット業界においては、コロナ禍における内食需要の高まりが生じる一方、業種・業態を超えた競争環境の激化、人件費や物流費の高騰といった経営課題を抱えております。

このような中、当社グループは、ブランドメッセージである“想いを形に、「おいしい」でつながる。”を具現化すべく、本年度のスローガンに「善心・全身・前進 ～3つの満足最大化～」を掲げ、環境変化への対応と地域密着経営の更なる推進による従業員・お客さま・地域社会の満足最大化を目指すとともに、お客さま及び従業員の安全・安心の確保と感染拡大防止策に継続的に努め、コロナ禍におけるお客さまの消費動向の変化に対応した店舗運営に取り組んでまいりました。

(国内事業)

国内事業におきましては、マックスバリュ中部株式会社との経営統合1周年を迎えた9月1日より「統合1周年祭」を開催し、経営統合による規模の拡大を活かした1周年記念のオリジナル商品、増量商品、特価商品を取り揃え、大々的に展開してまいりました。また、地域で親しまれる「じもの」商品の展開拡大と地域との連携の更なる強化を図るべく、同日より「三重県ありがとう」「愛知県ありがとう」キャンペーンを開始いたしました。これは富士山の美化・環境保全を目的に2010年より実施している「富士山ありがとう」キャンペーンに続く取組みで、各県にゆかりのある商品の販売を通じて地産地消の推進を図るとともに、この売上高の一部を各県に寄付金として贈呈し、環境事業や健康促進などの活動にお役立ていただくものです。

また、多様化する消費動向への対応として、9月にマックスバリュ大垣東店(岐阜県大垣市)、10月にマックスバリュ開成駅前店(神奈川県足柄上郡開成町)を配送拠点としたネットスーパーを新規開設したほか、11月に開店したマックスバリュ岡崎美合店(愛知県岡崎市)では、同店のネットスーパーでご注文いただいた商品を店舗レジカウンターで受け取ることができるサービスと、車に乗ったままドライブスルー方式で受け取ることができるサービスを開始いたしました。また、9月にはマックスバリュ御器所店(名古屋市昭和区)、11月にはマックスバリュ一社店(名古屋市長久区)にて、Uber Eats Japan 合同会社(本社:東京都渋谷区)が運営するフードデリバリープラットフォーム「Uber Eats」を利用した商品配達サービスの試験導入を開始いたしました。

店舗展開におきましては、重点出店エリアと位置付けている愛知県三河エリアにおいて、9月にマックスバリュ豊田四郷店(愛知県豊田市)、10月にマックスバリュ東海荒尾店(愛知県東海市)、マックスバリュ西尾新在家店(愛知県西尾市)、11月にマックスバリュ岡崎美合店と4店舗を開設したほか、静岡県西部エリアにおいて、11月にマックスバリュエクスプレス浜松常盤町店(浜松市中区)を開設いたしました。また、地域ニーズに応じた品揃えの強化や店舗の競争力を高めるべく、既存店舗の活性化改装を積極的に進めてまいりました。これらの結果、国内事業における店舗数は231店舗となりました。

(連結子会社)

中国事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化に向かう中、消費動向は依然として外出自粛に伴う内食化の定着とネットでの商品購買が拡大しております。イオンマックスバリュ(広州)商業有限公司、イオンマックスバリュ(江蘇)商業有限公司では、店舗の防疫体制を継続しつつ、生鮮食品や即食商品の強化、健康志向商品の拡充、節約志向への対応など来店動機の創出に努める一方、ネット事業の強化に取り組んでまいりました。加えて、経費コントロールの取組みにより利益面の改善に繋がったほか、経営の効率化を図るべく両社にて各々1店舗を閉鎖いたしました。

デリカ食品株式会社におきましては、新店開設に伴う供給エリア拡大に応じた商品製造体制の強化とエリア内のプロセスセンター間での業務の棲み分けによる製造工程の効率化を図り、利益改善に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益2,661億78百万円(前年同期比42.9%増)、営業利益79億97百万円(同111.8%増)、経常利益79億68百万円(同123.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益47億31百万円(同165.1%増)となりました。

当社は2019年9月1日付でマックスバリュ中部株式会社と経営統合しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し、74億99百万円増加し、1,273億56百万円になりました。これは現金及び預金の増加63億37百万円、有形固定資産の増加12億94百万円などによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し、44億37百万円増加し、536億30百万円になりました。これは未払法人税等の増加17億円などによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し、30億62百万円増加し、737億26百万円になりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上47億31百万円、剰余金の配当による減少17億6百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の業績予想につきましては、2020年10月7日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,016	21,354
売掛金	470	536
商品	8,431	9,047
関係会社預け金	15,507	16,507
その他	11,741	9,120
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	51,164	56,562
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,718	22,911
土地	22,422	23,035
その他(純額)	9,060	9,548
有形固定資産合計	54,201	55,495
無形固定資産		
のれん	274	339
その他	227	204
無形固定資産合計	501	543
投資その他の資産		
投資有価証券	421	425
繰延税金資産	4,477	5,312
差入保証金	7,945	7,941
その他	1,235	1,083
貸倒引当金	△88	△7
投資その他の資産合計	13,990	14,755
固定資産合計	68,693	70,794
資産合計	119,857	127,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,694	26,919
未払法人税等	1,062	2,762
賞与引当金	1,066	1,279
役員業績報酬引当金	51	38
店舗閉鎖損失引当金	45	47
資産除去債務	16	17
1年内返済予定の長期借入金	117	12
その他	11,004	13,237
流動負債合計	40,058	44,314
固定負債		
商品券回収損失引当金	2	2
退職給付に係る負債	504	402
役員退職慰労引当金	8	10
資産除去債務	2,770	2,834
その他	5,848	6,067
固定負債合計	9,134	9,315
負債合計	49,192	53,630

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267	2,267
資本剰余金	22,055	22,055
利益剰余金	47,099	50,125
自己株式	△320	△338
株主資本合計	71,102	74,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21	△19
為替換算調整勘定	105	99
退職給付に係る調整累計額	△681	△616
その他の包括利益累計額合計	△598	△535
新株予約権	119	123
非支配株主持分	41	28
純資産合計	70,664	73,726
負債純資産合計	119,857	127,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
営業収益		
売上高	183,287	261,336
その他の営業収入	3,010	4,842
営業収益合計	186,297	266,178
売上原価	135,418	190,496
売上総利益	47,868	70,839
営業総利益	50,879	75,682
販売費及び一般管理費	47,103	67,684
営業利益	3,775	7,997
営業外収益		
受取利息	40	45
受取配当金	0	7
雑収入	38	121
営業外収益合計	78	175
営業外費用		
支払利息	161	150
為替差損	54	—
雑損失	72	53
営業外費用合計	288	204
経常利益	3,565	7,968
特別利益		
受取補償金	29	—
リース解約益	14	159
特別利益合計	44	159
特別損失		
固定資産除却損	17	12
減損損失	480	629
店舗閉鎖損失引当金繰入額	27	46
事業再編費用	199	—
新型コロナウイルス対応による損失	—	65
その他	11	44
特別損失合計	736	798
税金等調整前四半期純利益	2,873	7,329
法人税、住民税及び事業税	886	3,421
法人税等調整額	258	△811
法人税等合計	1,145	2,610
四半期純利益	1,728	4,719
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,784	4,731

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	1,728	4,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	2
為替換算調整勘定	△39	△6
退職給付に係る調整額	27	63
その他の包括利益合計	18	60
四半期包括利益	1,746	4,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,813	4,793
非支配株主に係る四半期包括利益	△66	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。